

大和市子ども読書活動推進会議 会議記録

会議名	令和5年度 第1回 大和市子ども読書活動推進会議	
開催日時	令和5年6月27日(火)15時45分～17時	
開催場所	文化創造拠点シリウス 610大会議室	
出席状況	参加委員	<推進会議委員> 今宮 智子、伊禮 利奈、山口 真由子、吉野 敦子、矢嶋 千草、大川 伸子、渡辺 康子、長嶋 智美 (順不同・敬称略)
	欠席委員	古木 幸一(敬称略)
	市側出席者	<事務局職員> (3名)
	指定管理者	<図書館スタッフ> (3名)
	傍聴人人数	0名
公開非公開の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開	
審議又は検討経過及び結果	<p>1. 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員の出席状況の確認(9名中8名出席) ・配布資料確認 ・事務局自己紹介 <p>2 議事</p> <p>(1) 第46回大和市民まつり出展報告(資料1)</p> <p>◎事務局より、資料1を基に、第46回大和市民まつり出展報告について説明。</p> <p>会長:1日目はあいにくの雨だったが、2日目に関してはある程度活動ができたように思う。実際に参加された委員にどのような様子だったかを話してほしい。</p> <p>委員:木陰の中で子どもたちが絵本を読めるシチュエーションはとても良かったと思う。天候が本当に残念だった。撤収と設置を忙しく繰り返す場面もあったが、天候がもっている間は、仕事を待っている子どもが絵本を読んだり、休憩がてらに座った大人に子どもが絵本を読んでもらったり、といった様子が見られた。兄弟で来ている子の、下の子は親に読んでもらって、上の子は私が読んであげる場面もあった。絵本に触れる機会としてはとても素敵だったと思う。</p> <p>会長:図書館の絵本も用意していたが、湿気で傷んでしまうので展示はしなかった。図書館には絵本を資料として保存する目的もあるので、こういった天候の時には扱いが難しい。今回展示した絵本は、まちなか絵本スポットのプロモーション用として図書・学び交流課が購入している絵本だった。湿気を吸ってしまったかとは思いますが大分手に取ってもらえたと思う。</p> <p>今年は例年と並びが異なっており、隣に市子連のブースがあり、そこから流れてくる方もいた。ボーイスカウトのロープワークのブースにも多くの人が集まっていた。人を集めるブースの中で、子ども読書活動推進会議はどうしても地味な印象になってしまうので、どうやってPRをしていくかが課題だ。</p> <p>図書館をPRするとともに、読書活動を推進しています、本を読んでみません</p>	

かということをお居を下げてPRしていくことが重要。楽しい思いをしてもらいつつ、読書活動の推進をPRしていきたい。

工作コーナーや物品はすべて図書館に準備してもらい、雨に濡れながらも、素敵なブースにしてもらったことを感謝する。

(2) こども読書よむ読むプラン実施計画進捗点検について(資料2-1, 2, 3, 4)

◎事務局より、資料2を基に、こども読書よむ読むプラン実施計画進捗点検について説明

委員:セカンドブックの具体的な交換の仕方はどうなっているのか。

事務局:3歳6か月健診の場でチケットを配付し、市内3図書館で母子手帳へのスタンプと交換で配付しています。

委員:交換できる時間帯はいつか。

図書館:図書館の開館時間であればいつでも交換可能。

委員:チケットを配付する際に実物は見せているのか。

図書館:チケットに書名は書いてあるが、3歳6か月健診の場には実物は置いていない。各図書館に見本は用意してある。交換する時に選んでくる方もいるが、図書館で実物を見て選ぶパターンが多いように思う。

委員:自分の子の健診の頃にはまだセカンドブックは始まっていなかったが、とにかく待ち時間が長く、子どもが飽きてしまい、行き場を失っているところに、この本がもらえますよ、読んでみてくださいね、手に取ってくださいねという紹介があるといいと思う。待ち時間は本当に長い、親が持っているのはスマホだけで仕方なく何かしら動画を見せている親が多いが、まちなか絵本スポットなどが置いてあれば、読んでおいで、ということが出来る。読書推進としてもプラスになると思うので、有効活用できないか。

委員:毎月23日はやまと家読の日ですよ、というポスターは毎年掲示しているが、保護者の耳には届いていないように思う。学校で保護者に届く方法があればいいと思った。ブックリストを保育園をとおして保護者に届けるというやり方があるなら、学校をとおして、というやり方もあるかもしれない。教員の中にも読書と家読が同じだと思っている人もいる。家読の先にはコミュニケーションがあることを周知できたらいいと思う。

図書館:家読に関する講座の件、年次報告では触れる地球を計上していて、昨年度も計上していたが、よむ読むプランの点検では、他の項目との重複も考えて計上していない。問題が無いようであれば従来通り家読に関する講座として算入するが、基準はどう考えているか。

事務局:保護者が対象になっているものであれば対象と判断する。

図書館:もう一度整理して後日訂正する。

会長：新型コロナ感染症対策が緩和されて現場の活動が変わってきたと思うので小学校の朝読や先生の動きや保育園の方での保育園全般のことを簡単に教えてほしい。図書館からはブックスタートやセカンドブックの実際の運用を具体的に教えてほしい。

委員：新型コロナ対策として、消毒が必須だったり、保護者が中に入れず玄関での受け渡しだったりという状況だったので、絵本の貸出は中止していたが、3月くらいから保護者が中に入れるようになったので、頻度は落ちているが、毎月のやまと家読の日に4、5歳児が自分で絵本を選んで家庭で読むということ今年度から始めている。他の園の具体的な状況まではわからないが、スタートはしているのではないか。

委員：学校によって大分差があったと思うが、全教育課程をコロナ前に戻すという通達があったので、図書の貸出方法や貸出期間は通常どおりに戻したところ。ただし、手洗いの徹底はインフルエンザの流行もあるので継続して実施している。読書の推進については学校による取組の差がすごく大きいと思う。

図書館：ブックスタートは本来、読み聞かせとセットに行うものだが、新型コロナウイルスが流行して以降は、読み聞かせはずっと中止になっていたが、4月から再開している。しかし、本来は個別に膝をつきあわせて読み聞かせを行うが、すすく子育て課から距離をとってほしいという要望があったので、現在は、おはなし会形式で多数に対して距離をとって実施している。

読み聞かせが出来なかった時期もPOPを作って内容を知った上で選んでもらう工夫はしていたが、実際に絵本を読んでもらう体験、子どもが絵本を見ている様子を親が見ることでどの本を気に入るのかと本に対する興味が出てくる。前のように個別に読み聞かせができるようになればいいと思う。

セカンドブックは絵本の引換有効期限は1年になっている。去年の10月から開始しており、10月末から期限が切れ始めるので、手元に持ったままの人が交換にくるのかは読めない。どこかで交換してくださいという呼びかけができればいいと思う。

(3)その他

◎事務局より、資料3を基に説明

委員：学校現場で読書の推進をしていることが保護者に伝わっていない。1学期に学校に子どもを迎えに行ったときに、給食のメニューと絵本のコラボをやっていたり、昼休みに教室で過ごす子供のために、5年生や6年生が読み聞かせをしてあげたりしていることを初めて知った。保護者のアンテナを向けてもらうことも必要かと思った。

昔は、健診の場所に古い絵本があって、待つ時間に一緒に連れて行っていた上の子に読んでもらったことがあったような気がする。

ブックスタートで双子のお母さんがあまりの荷物の多さに大変なことになって

いるのを見ているとチケットの方が良いのではと感じたこともあったが、チケットは引換率が悪いという問題があって悩ましい。

大和市民まつりは雨で本当に残念だった。自分自身、スイミーを読みたいとずっと思っていて、読み聞かせをすることが好きな子どもが知り合いに何人かいて、ブースに来て読み聞かせをするチャンスがあると誘っていたが、今回は結局雨でできなかった。委員が読み聞かせをするのもいいが、絵本を読んであげたい子ども中にはいるので、そういった子どもに読んでもらうステージがあってもいいと思った。

読み聞かせと手話のコラボもやってみたいと思う。ろう者のサークルもブースを出しているので、ブースとブースのコラボができれば、読み聞かせに興味のあるそうだけではなく、福祉に興味のある人へもアプローチができる。

朝日中高生新聞にいじめや人間関係をテーマにした漫画があって、その作者が大和市出身らしい。いじめをテーマにした青少年相談員のかたのイベントがあればその人の作品を並べたりするような関連イベントができたら良いと思った。

事務局:次回は8月31日(木)に開催予定

3. 閉会

以上